

# 新・千葉支店を開設

## ホーム広げ品質強化

第一貨物(本社・山形市、武蔵野規  
社長)は一日、千葉県四街道市に千葉  
支店(写真)を新築・移転した。プラ  
ットホームの床面積は約三千五百平方  
メートル、旧施設の二・五倍に拡張。配達  
エリアの見直しと合わせ効率化や品質  
向上を図る。  
(矢田 健一郎)

### 第一貨物

第一貨物(本社・山形市、武蔵野規  
社長)は一日、千葉県四街道市に千葉  
支店(写真)を新築・移転した。プラ  
ットホームの床面積は約三千五百平方  
メートル、旧施設の二・五倍に拡張。配達  
エリアの見直しと合わせ効率化や品質  
向上を図る。  
(矢田 健一郎)

### エリア見直し 配送を最適化

新・千葉支店は、昭和  
四十六年開設の旧施設  
(千葉市若葉区)の老朽  
化と狭あい化を受けリニ  
ード南房エリアを東京支店  
(東京・東雲)か  
ら千葉支店扱いに  
変更する。  
所在地は四街道  
市大日一丁目二  
番一。東関東自動車  
道千葉北インター  
チェンジから約三  
キロ。敷地面積三万



「首都圏物流網を生かして  
革新的なサービスを提供し  
たい」と武蔵社長

敷地面積三万  
チェンジから約三  
キロ。敷地面積三万



1日オープンした新しい千葉支店

八千平方メートル。鉄骨造り  
で、二階建て事務所棟を  
含む延べ床面積は約六千  
五百八十平方メートル。  
ホームは東西に長く伸  
び二二三メートル。北  
面に運行便三十台分のパ  
ース。うち二カ所に車の  
を調節するドック  
クレベラーを設  
けた。一方、南  
面は集配車向け  
パース。天井と  
壁で仕切られた  
全天候型仕様で  
雨風から荷物を  
守る。近隣に騒  
音が漏れないよ  
う配慮した。  
二ト車十三  
台、四ト車三十  
五台、七ト車一  
台、大型十九  
台、トレーラー  
三台が日々稼働  
する。一日の目  
標取扱量は、到  
着量が三百三十  
ト、発送量が同  
三百四十トで旧

八千平方メートル。鉄骨造り  
で、二階建て事務所棟を  
含む延べ床面積は約六千  
五百八十平方メートル。  
ホームは東西に長く伸  
び二二三メートル。北  
面に運行便三十台分のパ  
ース。うち二カ所に車の  
を調節するドック  
クレベラーを設  
けた。一方、南  
面は集配車向け  
パース。天井と  
壁で仕切られた  
全天候型仕様で  
雨風から荷物を  
守る。近隣に騒  
音が漏れないよ  
う配慮した。  
二ト車十三  
台、四ト車三十  
五台、七ト車一  
台、大型十九  
台、トレーラー  
三台が日々稼働  
する。一日の目  
標取扱量は、到  
着量が三百三十  
ト、発送量が同  
三百四十トで旧

施設の約一・三倍。取扱  
量が目標に達してもまだ  
余裕があるという。  
働きやすく休  
憩施設を充実  
配送エリアの変更によ  
り東京支店に生まれるス  
ペースは、新規拡大や、  
他の拠点との間でのエリ  
アの最適化に役立てる。  
旧・千葉支店は取り壊す

計画。  
また事務棟には、休憩  
所や男性用と女性用の更  
衣室のほか、カプセルホ  
テルタイプの仮眠ベッ  
ド、シャワールーム、独  
身寮(十二部屋)も備え、  
従業員が気持ちよく働け  
るよう心掛けた。  
八月二十八日に行われ  
た開所式で武蔵社長があ  
いさつ(写真)。「大宮、  
入間、厚木、厚木第一、

今回の千葉と五つの大型  
支店の整備が完了した。  
圏央道が全線開通すれ  
ば、地元・山形のある東  
北から(首都圏を囲む圏  
央道の)ループ状のネッ  
トワークを経由して名  
古屋・大阪を結ぶ革新的  
な輸送サービスを提供す  
ることができると、都  
心を經由しないスピー  
ド輸送実現の展望を語っ  
た。